



ごあいさつ

2026.06.01



宮城県スポーツ少年団
本部長 郡山孝幸

宮城県スポーツ少年団の単位団指導者の皆様、並びに育成母集団、そして市町村本部事務局の皆様方におかれましては、常日頃より青少年の健全育成に向けご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。皆様方のご努力により、地域内の交流が活発になり、スポーツを通じたネットワークが着実に広がってきており、共に喜び合いたいと思っています。

令和7年度の宮城県スポーツ少年団の登録者数をまとめたところ、宮城県の全登録団員数は20,508人で、埼玉県、北海道、茨城県について4番目となっており、中学生の団員数は5,820人で全国最多です。中学生がスポーツ少年団に加入している要因は諸説あると思いますが、スポーツ少年団に属する皆さんが積極的に中学生団員を受け入れてくださったているからであります。このことに対しまして誠にありがたく深く感謝いたします。

有意義なことは言うまでもないことですので、近くのスポーツ少年団などと協力し合って、子どもたちがやりたいスポーツを選べる状況を作っていきたいものです。このことを実現するには、「**目先の勝利**」以上に子どもたちが「**楽しむこと**」を優先する必要があります。単位団の活動において多世代化が図られれば、中学生が小学生のお話をしたり、さらに年長の方が、見守りや指導に携わったり、「**支える**」といったスポーツの関り方に、より自己有用感をもつことができるようになるのではないのでしょうか。

このことを実行に移していくのはかなり困難が伴うとは思いますが、正にスポーツ少年団の理念につながっています。重ねて申し上げますが、そのために**優先すべきは「楽しい活動」**です。さらに、「**スポーツの世界から暴力や暴言をなくしたい**」このこともスポーツ少年団の理念であり願いです。大人の敷いたレールに乗せるだけでなく、子どもたちが自分の思いを堂々と表現できる環境をつくっていただきたく存じます。併せて私たちは、不登校気味の子、障害をもっている子も含め一人でも多くの子がスポーツに喜びを感じてもらえるよう力を尽くさなければなりません。児童生徒が『地域社会で過ごす』環境づくりを鋭意進めながら、中学生の部活動の地域展開に結びつけていきたいものです。

子どもたちが、失敗を恐れず自信をもって練習や試合にのぞめるよう、そして何よりそのスポーツを好きになって、「スポーツ少年団に入って良かった」と心から思ってもらえるような団活動を支援してまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

スポーツ少年団の理念

- 一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する
- スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる
- スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

日本スポーツ少年団指導者綱領

1. わたくしたちは、次の時代を担う子どもたちの健全育成のために努力します。
1. わたくしたちは、スポーツのもつ教育的役割を果たすために努力します。
1. わたくしたちは、子どもたちのもつ無限の可能性を開発するために努力します。
1. わたくしたちは、つねに愛情と英知をもって子どもたちと行動するよう努力します。
1. わたくしたちは、スポーツを愛する仲間とともに世界の平和を築くために努力します。

日本スポーツ少年団団員綱領

1. わたくしたちは、スポーツをとおして健康なからだと心を養います。
1. わたくしたちは、ルールを守り、他人に迷惑をかけない、りっぱな人間になります。
1. わたくしたちは、スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします。
1. わたくしたちは、スポーツのよこびを学び、友情と協力を大切にします。
1. わたくしたちは、スポーツをとおして世界中の友だちと力をあわせ、平和な世界をつくれます。

スポーツ少年団活動のガイドライン



ご一読ください

宮城県スポーツ少年団



公式LINE配信中

